

第1回草津市総合計画審議会 会議録

■日時：

平成30年12月19日（水）13時30分～15時25分

■場所：

草津市役所 2階特大会議室

■出席委員：

赤星委員、井上委員、内田委員、角谷委員、北村委員、喜田委員、肥塚委員、清水委員、竹山委員、田中進委員、田中香治委員、塚口委員、中嶋委員、中村委員、馬場委員、堀井委員、末下委員、三浦委員、南委員、宮城委員、宮下委員、森田委員、森本委員、谷地田委員、山口委員

■欠席委員：

安里委員、土山委員、山下委員

■事務局：

総合政策部 脊戸政策監、岡野部長、居川理事
企画調整課 南川課長、小川課長代理、力石主査、直井主任

■傍聴者：

3名

1. 開会

- 開会にあたって、橋川市長より挨拶

- 事務局

草津市総合計画審議会設置条例施行規則第5条第2項に基づき、半数要件を満たしており審議会が成立していることを報告。

2. 委員の委嘱および委員自己紹介について

- 事務局

平成30年12月4日から平成33年3月31日までの期間、草津市総合計画審議会委員に委嘱させていただいた。

- 各委員より自己紹介

3. 会長および副会長の互選について

会長：肥塚委員 副会長：中村委員

※草津市総合計画審議会設置条例施行規則第4条第1項に基づき、委員の互選により会長

及び副会長を選出。

4. 諮問について

●橋川市長

第6次草津市総合計画基本構想および基本計画を策定するにあたり、草津市総合計画審議会設置条例第1条の規定に基づき、審議会の意見を求める。

5. 審議

(1) 第6次草津市総合計画の策定方針について

●事務局

<資料3～資料5について説明>

●委員

市民の中には、外国籍の方や障害者、高齢者など、いろいろな方がいらっしゃるので、そういった方たちも計画の策定に参加できるような環境づくりを一番に考えていただきたい。

●事務局

様々な市民参加を実施しますが、皆様に周知し、いろんな方が参加できるようにしていきたいと考えております。

策定方針P3で必要に応じて関係団体へのヒアリングを実施するとありますとおり、審議会委員の関係団体や障害者団体等から要望があれば、別途ヒアリングを行いたいと考えております。

●委員

様々なデータを取られるが、これらをオープンデータにするのか。

●事務局

例年実施している市民意識調査については、HPで公表させていただいております。今回の市民意識調査では、これから実施するため確かなことは申し上げられませんが、積極的に公表していきたいと考えております。

●委員

公表する際の形式などはお考えいただけるのか。

●事務局

よりわかりやすい形で公表できたらと考えております。

●委員

オープンデータということなので、データを活用するということを想定し、文章が画像

やPDF形式のものではないとの考えでよいか

●事務局

例えば草津市の統計書についても、今はオープンデータ化ということでエクセルデータを公表しておりますので、積極的に活用していただけるような形で公表したいと考えております。

(2) 市民意識調査（総合計画策定用）等の実施について

●事務局

<資料6～資料8について説明>

●委員

SNSが浸透してきていることもあり、対象の方がどこから情報を入手しているのかということがわかる設問を入れると、今後情報発信をする際に役立つのではないかと考える。

●事務局

SNSが広く浸透してきているということもあり、こういった計画では様々な方の意見をお聴きするというのも重要であると考えておりますので、今後検討していきたいと考えております。

●委員

転入者アンケートの問9で草津市に期待することを聞いているが、問10において、問9で答えたものに対して具体的にどのようなであればよいかということを知る項目を設けた方がよいのではないかと考える。

●事務局

具体的に聞く欄を設けてはどうかという御意見ですが、最後の問で自由な意見を聞く欄を設けておりますので、そこで回答いただければと考えております。

●委員

おそらく最後の自由意見欄では「特になし」という回答が多くなってしまうと考えている。問9の設問に対して、「あなたはどのようにしてほしいですか」という設問を入れると回答しやすくなるかと考える。

●事務局

いただいた御意見を基に検討してまいります。

●委員

高校生アンケートについて、市内に住んでいる市外の高校に通う高校生や障害者に対するアンケート調査は実施しないのか。

●事務局

市内に住んでいる市外の高校に通う高校生は今回のアンケートの対象からは省かれております。当初は、市内に住んでいる高校生に対してアンケート調査を行うことも検討いたしましたが、費用面や回収率が低くなることを懸念し、市内の高校を選択することで、市内在住の方と市外在住の方の両方の御意見を聞けると考えました。

障害者に対するアンケートについては関係団体ヒアリングにおいて、御要望があれば必要に応じて実施させていただきたいと考えております。

障害者に関することですが、基本的には障害者であれば障害者計画等で個々の計画がございます。今回の総合計画は最上位の計画であり、その下に個々の計画が位置づけられており、ピンポイントの部分では個々の計画で判断をするものと考えております。しかしながら、当然連携は必要となりますので、繋がりをもった計画づくりを考えております。

●委員

SNSや広報等で市の方から宣伝されるなど、回収率を上げる取組をされたほうが良いのではないかと。

●事務局

調査票と回答用紙を同じにすることなどの工夫は今年度から実施していく予定であり、できるだけ回収率を上げたいと考えております。広報にはアンケート調査の協力について掲載する予定です。

●委員

以前別の調査における3,000人の無作為抽出において、学区によって偏りが生じてしまっていた。今回実施する時は学区に偏りがなく、みなさんに回答いただけるようお願いしたい。

●事務局

3,000人の抽出については、男女、年齢、学区別に実際の人口を3,000人で案分して抽出いたします。ただ、学区ごとの人口が違いますので、その分の偏りは生じます。

●委員

草津市からのメールの配信はどれぐらいしているのか。草津市のメール配信を登録している方は市政に関心のある方であると思うので、活用できたらと考える。

●事務局

現在資料がないので、お答えは難しいですが、お調べして、審議会修了後に記録や意見に対する対応において記載し、後日お送りしたいと考えております。

●委員

資料6の「※何らかの理由で御本人による回答が難しい場合は、御本人のお考えを尊重

し代理の方が御記入頂きますようお願い致します。」は例えばヘルパーの方に書いていただくということも可能ということでしょうか。

●事務局

おっしゃるとおりです。

●委員

インターネットの回答は別途説明資料があるのか。

●事務局

もう一枚別紙で説明資料を添付いたします。

●委員

高校2年生のアンケートについて、学校にいけない方や働いている方もいらっしゃる中で、草津市にいる17歳の声を取り上げることはできないか。

●事務局

総合計画ですので、一つの分野をピンポイントでというのは難しいと考えており、今後の検討課題ということでお願いしたいと考えております。

●委員

LINE@というメッセージを一斉送信するアプリがあるので、活用を検討されてはいいかが。

3. 閉会

●事務局

第2回の審議会については、現時点では未定だが、庁内の議論等を経て来年度の7月頃に実施させていただく予定としている。日程調整は別途実施させていただく。

●閉会にあたって、岡野総合政策部長より挨拶